

# 新議員紹介

任期満了による五條市議会議員選挙が行われ、次の12名が当選しました。



議長  
益田 吉博  
64歳

- ・厚生建設常任委員会委員
- ・地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別委員会委員
- ・新庁舎建設特別委員会委員

## 議長就任のごあいさつ

昨年の9月定例会において、議員発議により議員定数を15名から12名に削減するため条例の一部改正を行い、11月の一般選挙におきまして、私も12名の議員が、新しく市民の皆様方から負託を受けました。

また、私は、その後の12月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の重責を担うことになりました。

もとより微力でございますが、決意を新たにし、円滑な議会運営と本市の更なる発展のために全力を尽くす所存でございます。



副議長  
岩本 孝  
64歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員



監査委員  
福塚 実  
49歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別委員会委員



養田 全康  
35歳

- ・厚生建設常任委員会委員
- ・議会改革特別委員会委員
- ・新庁舎建設特別委員会副委員長



平岡 清司  
50歳

- ・厚生建設常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会改革特別委員会副委員長
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員



牧野 雅一  
50歳

- ・総務文教常任委員会副委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別委員会委員
- ・新庁舎建設特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



宗部 康寛  
52歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別委員会副委員長



吉田 正  
56歳

- ・厚生建設常任委員会委員
- ・地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員長



窪 佳秀  
61歳

- ・厚生建設常任委員会副委員長
- ・議会改革特別委員会委員
- ・新庁舎建設特別委員会委員
- ・議会広報編集委員会委員



山口 耕司  
59歳

- ・総務文教常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員長
- ・議会改革特別委員会委員長
- ・新庁舎建設特別委員会委員長
- ・議会広報編集委員会副委員長
- ・南和広域医療組合議会議員



吉田 雅範  
61歳

- ・総務文教常任委員会委員長
- ・議会運営委員会副委員長
- ・議会改革特別委員会委員
- ・新庁舎建設特別委員会委員長
- ・議会広報編集委員会委員



大谷 龍雄  
67歳

- ・厚生建設常任委員会委員長
- ・地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別委員会委員
- ・新庁舎建設特別委員会委員
- ・やまと広域環境衛生事務組合議会議員

(議員の年齢は3月1日現在)



# 一般質問

定例会では、議案に係らず市的一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

## 山口耕司 議員

### JR大和二見駅の改修について

**山口** 電車の昇降口とホームの段差が30～40cmあり、障がいをお持ちの方や、年配の方は大変な思いをしてその段を乗降している。しかも、無人駅で介助する人もいない。トイレは駅構内で水洗ではない。高齢化が進む中、また、新町通りの観光客を増やすためにも、JR二見駅の改修工事を早急に取り組まなくてはならないと考えるが、

**都市整備部長** 駅舎の改修については、今後、当駅を管轄するJR西日本和歌山支社に対し、駅構内の段差解消及びトイレの改修について、要望をしてまいりたい。

**山口** 以前に改修に係わる要望などの協議を行ったか。

**都市整備部長** 市として二見駅についての要望は今までしていない。

**市長** 当駅を重要伝統的建造物群保存地区の五條新町地区への西側の玄関口として、利用者の増加を大いに期待している。駅前周辺の活性化を図る上でも、駅舎の改修は必要であると考えている。

今後、利便性の向上を図るべく、

当駅を管轄するJR西日本和歌山支社に対し強く働きかけを行いたい。

### (仮称)五條総合体育館建設に伴う新たな駅の増設要望について

**山口** 地図上では、上野公園からJR和歌山線との距離は、約600mしか離れていない。そこで新たな駅を設ければ大変使い勝手の良い施設になるのでは。また、五條市西側の玄関口として更なる開発もできる。この新たな駅の増設の要望をJR西日本に行つてはどうか。

**都市整備部長** 平成27年3月の竣工に向け取り組んでおり、多額の公式競技が行える体育館施設となる。今後、市内外から多くの利用者があると思込んでいる。

現在、当該施設への交通手段は自動車で、使用の促進を図るためにも、体育館施設完成後、自動車以外の交通手段の調査研究をする必要性があると考えている。

**山口** 利用する方は小・中・高校生が多く、送迎が必要な体育館では困る。新たな駅の要望活動を行つて頂けるのか。

**市長** 今後、利用者の調査等を行い、JRに対し要望活動を行いたい。

## 窪 佳秀 議員

### 市内3箇所にあるインターチェンジの整備と周辺利用計画について

**窪** 市の玄関口としての役目を果たすインターチェンジの周辺整備計画について伺う。

**都市整備部長** インターチェンジ周辺は市街化調整区域であるが、規制の緩和が図られ、各インターチェンジから概ね1km以内の区域には「特定流通業務施設又は工場」が対象であり、また休憩所として「道の駅」、周辺で生産された農産物を主とした直接販売所は可能であることから関係機関及び各種団体と協議し南和地域の玄関口にふさわしいまちづくりを進めていく。

**市長** インターチェンジ周辺は五條市の玄関口、南和の玄関口として捉え、吉野郡全体と連携をとりながら検討を重ね、前向きな形の中で拠点としての位置づけを明確にすることにより、市の活性化の起爆剤になると考えている。

**窪** 早急に検討して五條市に立ち寄っていただき市の活性化につなげていただきたい。

### 防災対策について

**窪** 災害時における市民への広報伝達方法及び災害時の集結場所・防災拠点の必要性について伺う。

**危機管理監** 伝達方法については、防災行政無線設置に向け、今年度中に電波伝搬調査を完了させ、早期事業化を進めていく。市民にメールアドレスを登録していただき情報の伝達を行うことも検討している。集結場所は必要であるが、現在ある施設・場所から地域の防災計画見直しの中で調整していく。

**窪** 東南海・南海地震の被害想定がされている中で、応援機関の集結場所、防災拠点、南和はもちろんのこと、紀伊半島の防災拠点が五條市というような気持ちでヘリポートを常設した拠点を県・国とともに検討する必要がある。

**市長** 災害の状況に応じて対応する。現在、自衛隊駐屯地誘致をすべく県と連携して政府等に要望を行っている。南和地区だけの拠点ではなく紀伊半島の防災拠点になると確信している。防災体系も併せて構築していく。

**窪** 防災対策事業に優先順位をつけて実行していただきたい。

(ほかに各部における市の活性化につながる取組について質問をしました。)



## 平岡清司 議員

### 災害時における消防団の活動について

**平岡** 2011年9月に起きた大塔町の災害に私は消防団員として救助活動に行き、被災地の災害状況に団員全員が絶句した。そんな状況の中、やはり消防本部は被災地での活動状況と被害状況を報告し、迅速な対応の必要性があると感じた。今後の消防団への指揮命令についてと、被災地の情報収集が困難な状況の中、危険な災害現場で活動している消防団員の家族への連絡方法について尋ねる。

**消防長** 現在の消防団員数は562名。指揮命令は、災害規模や災害現場の状況によって異なる。消防団長から災害発生現場を管轄する分団長へ出動要請を行い、分団長からの指示で団員が活動することとなる。大塔町の災害を経験し、大災害時には消防団は消防本部の指揮により活動することとなっており、改めて消防団と消防本部の連携並びに指揮命令系統の重要性を深く認識した。危険な災害現場で活動している消防団員の家族への連絡方法として、災害現場と消

防本部が衛星電話を活用して情報収集を行い、その情報を各分団内の連絡網を構築し情報提供を行えるよう、今後、消防団幹部会議等で検討してまいりたい。

### 有害鳥獣対策について

**平岡** 全国的にイノシシや鹿等による農作物への被害が深刻化する中、本市でも我々の生活圏に近いところでも被害にあったという話をよく聞く。他の市町村では、イノシシや鹿を地域の資源として活用しているところがあると聞く。

市長の市政報告の中で、食肉処理加工施設の建設について報告されているが、建設予定地はどこか。

**産業環境部長** 以前より捕獲したイノシシ・鹿の処理加工施設の建設費用の一部補助を国、県に強く要望した結果、本年6月に農林水産省より補助金の内定をいただき、このたび阪合部地区の太平の集落の約200メートル手前の道路沿いの山林を予定している。

**平岡** 施設ができれば雇用が生まれるのか。

**産業環境部長** 商品化する際の包装等の作業員が必要となるので地元の方をお願いしたいと考えている。

## 養田全康 議員

### 五條市の今後のまちづくりについて

**養田** 五條市が持つ問題の中に少子高齢化、税収減少などがあると思われるが、今後、五條市がどう変わっていくべきか、市長のビジョン、成長戦略等を聞かせてほしい。

**市長** 本市では、第五次五條市総合計画等に基づき、誰もが住んで良かったと思える、魅力ある元気な五條市を目指すべき都市像に掲げ推進しているところである。

**養田** 最重要課題は？

**市長** 一つは、将来を担う子供たちの健全育成に関する取組。二つ目は、若者定住に向けた企業誘致の促進、三つ目は、いつ起こるか分からない災害から市民の生命、財産を守る取組等である。

まず、若い世代が子育てしやすい環境づくり、定住促進につながるよう、乳幼児・子供医療費助成制度を本会議に提出している。

### 子供の医療費の無料化について

**養田** これからを担う子供たちや今まで五條市を作り上げていただいた高齢者に優しいまちづくりを

目指す中で、私は、選挙戦において子供医療費無料化を訴えてきた。子育て世代には大きな問題だと思ふ。どういった経緯で無料化されるのか。

**すこやか市民部長** 医療保険制度の本人負担額を一部助成することにより、子供の心身の健康保持及び福祉の推進を図ることを目的とした地方単独の制度である。

**養田** 県単位の取組ということであるが、完全無料化ではないのか。隣の橋本市では、県内病院の場合、患者負担額がゼロ円で、県外病院の場合でもいったんは窓口支払いをするが、後で口座振込をしていただけと聞いた。

五條市でも、橋本市のように完全無料化や手続の簡略化を是非検討いただきたい。そして、住みやすい、子供を育てやすい五條市をこれからもPRしていただきたいと思う。



## 牧野雅一 議員

### 大塔地域の復旧の進捗状況、復興の進展と今後の展望について

**牧野** 平成23年9月の記録的な豪雨となった台風12号により被災された皆様に改めてお見舞い申し上げます。

甚大な被害をもたらした紀伊半島大水害は、市民に深い悲しみだけでなく多くの教訓を残した。大塔地域の復旧・復興という課題を成し遂げていくことが市民と行政が協働してまちづくりを行うという大切なテーマに関わってくるからであると考えている。

地域を輝かせることが五條のまち全体の光になると確信するものであり、形あるものの復旧は目に見えて進捗するが、過去の経緯から現在の状況を鑑み、そこから未来を展望する力が問われる。

大塔町の復興はどれだけ進展し、今後どう展望されていくのか。

また、市全体のまちづくりとどのように関わり、今後に影響を与えていくと考えるか。

**市長公室長** 今後、地元住民の意見を聴きながらより良い復興を目指してまいります。

中核的な観光施設であった赤谷オート・キャンプ場を復旧することが重要であると考えており、付加価値を付けて被災前以上の集客を図ることが復興につながるものと考えている。

**牧野** 今の言葉に対して偽りのない行動を今後ともよろしく願う。災害という逆境をバネにするこ

との大切さを共有し、私も行政と議会がまちづくりの両輪となっていくべく勉強し、意見を述べさせていただくが市長の見解はどうか。

**市長** お互いに知恵を出し合い、切磋琢磨しながら協力し合う必要があると考えている。

### 南和地域における五條市の位置付けについて

**牧野** 我がまち、我がふるさと五條市の将来的な南和地域の役割、位置付けをどのように考え、どのように導いていただけるのか。

**市長** 今も将来にわたっても、五條市は南和地域のリーダーとして主体的な役割を果たしていくことが大切であると思っている。議員の御協力をお願い申し上げたい。

**牧野** 「南和地域に五條市あり」と、行政と議会が両輪となつてまちづくりに励んでいきたい。

## 吉田雅範 議員

### 子供の医療費の助成について

・医療費の助成対象者について

**吉田** 少子化が進み若者が流出している中、小学生の通院費及び中学生の入院費が改正されるが、五條市ではゼロ歳児から中学生までの医療費、入院費、通院費の無料化はできないか。また中学生の通院まで拡充するとなれば助成額ほどの程度になるのか。

**すこやか市民部長** 子供医療費の助成対象の拡充は、子育て支援対策として重要な支援策の一つであると考えているが、医療費助成制度は、将来にわたり恒久的に大きな一般財源を必要とする事業であることから、県補助制度の拡充を強く働きかけると同時に県内市町村との整合性を図り、財政事情を勘案しながら検討してまいりたい。

また、中学生の通院助成には推定で1,200万円程度必要と見込んでいる。

**市長** 財政状況が厳しく、中学生まで拡充すると金額的に大きいことから、全体的な流れを見ながら総合的な判断をしなくてはならない。

**吉田** 子供医療費の助成や住宅問題など、五條市に住んで良かったと言われ定住者が増えるような施策をとっていただき、今後の検討課題としていただきたい。

### 公用車の購入方法について

**吉田** 現在、公用車の購入方法はどのようなになっているか。

**総務部長** 消防車両等を除き原則として各課で予算措置をして財政課で市内の物品登録業者から指名競争入札により購入しており、購入先は、五條自動車整備協議会とそのほかに物品登録業者である。

**吉田** 全ての購入先に整備工場等はあるのか。

**総務部長** 物品登録業者7事業者のうち、道路運送車両法に基づく車両整備の認証を有する事業者は3事業者であるが、認証を有することが法令上の必須条件となっていないことから、市の業者登録に係る必要条件を満たしている場合は、競争原理を高めるという意味から入札への参加を認めている。



## 福塚 実 議員

### 五條市の交通安全対策について

- ・交通安全への対応について
- ・市道の老朽化対策について

#### 福塚

交通安全対策の基本としては、高齢者及び歩行者等の交通弱者の安全確保等、人優先の安全思想を総合的に判断して対応、対策を進めていかななくてはならない。通学路の整備や安全対策については、まだまだ課題が多く見受けられるし、防護柵や防犯灯の設置などにも努めていただきたい。また、老朽化した市道の点検方法などについてもお聞かせ願いたい。

#### 危機管理監

市では関係機関の皆様とともに交通事故抑止40日作戦等各種交通安全啓発運動を実施しており、今後も更に力強い施策を推進してまいりたい。

#### 教育部長

通学路の安全確保としては、平成24年度に教育委員会、学校関係者、道路管理者、警察関係者等による通学路合同点検で危険箇所を点検を行い、25年度には県から派遣の通学路安全対策アドバイザーからアドバイスを受けながら現場の点検をして特定した63か所の危険箇所について、道路管理者が既に整備を進めている。

#### 教育長

63か所の危険箇所については26年度中に整備を終えるよう進めているが、提起のあった防護柵や防犯灯についても勘案しながら、より充実したものに進めていくよう努力してまいりたい。

#### 都市整備部長

国庫補助で路面正常基礎調査を実施しており、この結果を基に改修工事を計画的に進めてまいりたい。また職員のパトロールや協力業者による通報などから緊急度等を勘案して安全・安心な道路管理に努めてまいりたい。



### 住民の生活環境について

- ・ごみ屋敷対策について

#### 福塚

近隣住民等に不快な環境を強いており、いろいろな面で問題のあるごみ屋敷問題についてどのような対策を考えているのか。

#### 産業環境部長

法律に基づいた適正な対応や撤去が困難な状況であり、即効性のあるような対策がなく苦慮しているところである。

#### 市長

大変難しく複雑な問題で、撤去等対処ができるよう警察とも連携しながら進めてまいりたい。

## 大谷龍雄 議員

### 地域公共交通におけるデマンドバス及びデマンドタクシーの予約制度の改善について

#### 大谷

五條市の一人暮らしは、平成24年度で1297世帯、高齢者のみは1233世帯である。この皆さんの要望は、当日予約への改善と家の近くまで迎えにきて目的地まで送ってほしいという要望である。三郷町は、当日30分前の予約でも受け付け、目的地まで送る方式をタクシー業界に委託してコンピュータシステムでやっている。五條市もまずは当日予約制に改善すべきではないか。

#### 市長公室長

第三次五條市地域公共交通総合連携計画を策定する上で、三郷町の運行形態も参考に当日予約制を踏まえたフルデマンドタクシー方式を見据えて検討していく。



### 国民健康保険税の負担軽減について

#### 大谷

五條市も日本も大変な不況が続き市民の皆さんも収入が減り大変である。したがって、国民健康保険の所得割も減り国民健康保険特別会計も大変であるが、平成25年3月議会では、国民健康保険加入者の低所得者の負担軽減のために一般会計から8千万円、国民健康保険特別会計の基金から1億5千万円繰入れを行った。平成26年度予算編成においても25年度と同じ2億3千万円ぐらゐの繰入れが必要ではないか。

#### すこやか市民部長

国民健康保険は、高齢者や無職者、低所得者等経済的に弱い立場の人々が加入している。国民健康保険特別会計は大変厳しい状況である。平成26年度の予算計上においては、平成25年度の法定外繰入額及び国民健康保険財政調整基金繰入額に相当する繰入れを考えている。



# 平成25年12月定例会及び平成26年1月臨時会の表決結果と議決結果

賛成=○ 反対=● 退席=△ 議長=長

議案名	養田 全康	平岡 清司	牧野 雅一	宗部 康寛	吉田 正	窪 佳秀	岩本 孝	福塚 実	山口 耕司	吉田 雅範	益田 吉博	大谷 龍雄	議決結果
平成25年度五條市一般会計補正予算（第4号）議定について（「鳥獣対策費」を全額削除） 【歳入歳出にそれぞれ3億5,469万5千円を追加し、債務負担行為と地方債の補正】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	修正可決
五條市副市長の選任について 【樫内成吉氏（現 五條市市長公室長）の選任に同意】	○	○	△	△	△	○	○	△	○	△	長	○	同意
五條市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について 【議員報酬月額20%削減】	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	長	△	否決
過疎対策の積極的推進を求める意見書 【地方自治法第99条の規定により関係行政庁に意見書を提出】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	可決

（以下は、全議員賛成のもと原案のとおり可決・承認・同意した議案）

議案名	議案の概要
専決処分の報告、承認を求めることについて （平成25年度五條市一般会計補正予算（第3号））	台風18号で被災した施設等を復旧するため特に緊急を要した災害復旧予算（1億469万7千円）
専決処分の報告について（調停）	市営住宅家賃等の滞納について支払の意思がないものと認められる相手方に対する調停
五條市行政組織条例の一部改正について	機構改革として、部に「危機統括室」の設置及び分掌事務を改正（平成26年4月1日から施行）
職員の退職手当に関する条例の一部改正について	定年前早期退職者の適用対象の拡大及び退職手当の割増率の改正（平成26年4月1日から施行）
財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	大塔支所と一体の五條市消防署大塔分署を奈良県広域消防組合に無償貸与するため。（公布の日から施行）
五條市子ども医療費助成条例の一部改正について	医療費助成対象に小学生の通院及び中学生の入院を加える。（平成26年4月1日から施行・経過措置）
五條市国民健康保険税条例の一部改正について	平成25年税制改正に伴う所要の改正等（公布の日から及び平成29年1月1日から施行・適用区分）
五條市滞在体験型観光施設条例の一部改正について	指定管理者不在等期間に市が直営できる規定を整備（公布の日から施行）
五條市下水道条例及び五條市簡易水道給水条例の一部改正について	消費税増税に伴う料金改定（平成26年4月1日から施行・経過措置）

議案名	議案の概要
五條市営住宅条例の一部改正について	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正に伴う所要の改正 (平成26年1月3日から施行)
五條市上水道事業給水条例の一部改正について	消費税増税に伴う料金改定及び用語の定義の見直し (平成26年4月1日から施行・経過措置)
五條市簡易水道設置条例の一部改正について	簡易水道事業の第25給水区域を拡張 (平成26年2月1日から施行)
町の区域及びその名称の変更について	木ノ原町、釜窪町、畑田町の一部をなつみ台1丁目、3丁目、4丁目に変更(公布の日から施行)
市立五條文化博物館に係る指定管理者の指定について	平成26年4月1日から3年間、指定管理者に特定非営利活動法人うちの館を指定
五條市立民俗資料館に係る指定管理者の指定について	平成26年4月1日から3年間、指定管理者に「維新の魁・天誅組」保存伝承・顕彰推進協議会を指定
五條市新町まちや館に係る指定管理者の指定について	平成26年4月1日から3年間、指定管理者に特定非営利活動法人大和社中を指定
五條市滞在体験型観光施設に係る指定管理者の指定について	平成26年4月1日から3年間、指定管理者に株式会社あすもを指定
奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更について	奈良県広域消防組合が設立されることに伴い奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村及び組合のうち、西和消防組合等が解散され、奈良県市町村総合事務組合を組織する組合でなくなる。
奈良県市町村総合事務組合規約の変更について	奈良県広域消防組合が設立されることに伴い奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村及び組合のうち、西和消防組合等が解散され、新たに奈良県広域消防組合を奈良県市町村総合事務組合を組織する組合とする。
平成25年度五條市簡易水道特別会計補正予算(第1号)議定について	補正予算額1,314万円 (光熱水費、修繕料、水道組合補助金の追加)
平成25年度五條市下水道事業特別会計補正予算(第1号)議定について	補正予算額 860万円 (消費税及び地方消費税追加並びに流域下水道維持管理費負担金更生減)
平成25年度五條市水道事業会計補正予算(第1号)議定について	補正予算額 983万1千円 (電気料金引き上げに伴う追加等)
五條市公平委員会委員の選任について	辻内さえ子氏(現 五條市公平委員会委員)の選任に同意 (平成26年4月1日から4年間)
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	中村敏郎氏(元 教諭)を候補者に推薦することに同意 (委嘱の日から3年間)
五條市監査委員の選任について	福塚 実氏(現 五條市議会議員)の選任に同意
【平成26年第1回臨時会】(1月30日) 平成25年度五條市一般会計補正予算(第5号)議定について	補正予算額3,931万3千円 (鳥獣対策費の追加)

## 過疎対策の積極的推進を求める意見書

過疎地域は、我が国の国土の半分を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、癒しの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしています。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域に住む住民によって支えられてきたものです。

少子・高齢化が急速に進んでいる今日、過疎地域では、多くの集落が消滅の危機にひんするなど、極めて深刻な状況に直面しています。

しかし、過疎地域が安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されていくことが、多面的・公益的機能の維持と、ひいては都市をも含めた国民全体の生活の向上につながることを認識し、引き続き過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を行い、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要であると考えます。

よって、国におかれては、以下の項目について強く推進することを求めます。

### 記

- 1 地方交付税を充実し、過疎市町村の財政基盤を強化するとともに、過疎対策事業債の必要額を確保し、道路・橋りょうの維持補修などに過疎対策事業債を適用する対象事業の拡大を図ること。
- 2 医療や雇用の確保、交通や教育環境の整備等を広域的な事業による対応を含めて積極的に推進し、住民が安心・安全に暮らせるための生活基盤を確立すること。
- 3 過疎地域においても高度情報通信等社会の恩恵を享受できるよう高度情報通信基盤の整備を図るとともに、過疎地域の活性化や中心都心との交流の促進を図るため、高規格幹線道路等の道路網の整備を促進すること。
- 4 森林の管理、農地の利用、地域資源を活用した観光及び地場産業の振興等過疎地域の環境と特性を生かした産業振興を支援し、新たな雇用を創出すること。
- 5 集落対策、都市との交流、多様な主体の協働による地域社会の活性化と人材の育成・活用等による総合的な集落対策を積極的に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年12月20日

五條市議会

## 第1回臨時会の概要

平成26年1月30日に第1回臨時会が招集され、会議録署名議員の指名に続き、本臨時会の会期を1日とすることを決定した後、市長から、「平成25年度五條市一般会計補正予算(第5号)議定」について議案の説明がありました。

この議案は、先の12月定例会において提案された一般会計補正予算のうち、食肉処理加工施設を建設するための事業費は、地元の協力体制も整っていない中、12月補

正予算への計上は時期尚早であるとして、議員の修正発議により施設整備事業費の全額が削除されたものでありますが、捕獲鳥獣の食肉処理加工施設整備事業として阪合部新田町地内に施設を建設するものです。

本会議では、議員から、12月定例会以降の経緯や工事内容等について質疑が行われ、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決し、閉会しました。

## 南和広域医療組合

### 議会報告(抜粋)

平成25年10月30日、大淀町役場において、南和広域医療組合議会第2回定例会が開会されました。

本会議では、まず平成24年度一般会計補正予算の専決処分を承認し、平成24年度一般会計決算認定及び平成25年度一般会計補正予算(第1号)については、慎重審議を期するとして病院建設運営委員会に付託され、散会しました。

本会議再開後、病院建設運営委員会委員長からは、2議案について慎重審査の結果、全員一致をもって認定並びに可決したこと、関連事項として、救急病院等整備事業スケジュールの見直しと総事業費を既定の予算に38億6千万円を増額する見直しについて理事者から説明があったこと、また、救急病院の病院長に組合医療担当管理者の松本昌美氏が就任することが決定したことなどの報告がありました。

以上の委員長報告の後、平成24年度一般会計決算認定及び平成25年度一般会計補正予算の2議案について採決の結果、全員一致により原案のとおり認定並びに可決され、最後に、病院建設運営委員会の閉会中の継続審議についての申出を可決し、11月5日に閉会いたしました。

## やまと広域環境衛生

### 事務組合議会報告(抜粋)

平成25年11月7日、御所市役所において、やまと広域環境衛生事務組合議会第2回定例会が開会されました。

本会議には、御所市、田原本町、五條市の議会議員並びに管理者及び副管理者等が出席して、平成25年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分報告・承認及び平成25年度一般会計補正予算(第2号)並びに平成24年度一般会計歳入歳出決算認定、公平委員会委員及び監査委員選任の5議案について審議が行われました。

本会議では、初めに、平成25年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分を承認し、平成25年度一般会計補正予算(第2号)及び平成24年度一般会計歳入歳出決算認定については、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決並びに認定されました。

次に、公平委員会委員及び監査委員の選任については、関係法令の規定によりそれぞれ議会の同意を求めらるもので、公平委員会委員に御所市公平委員会委員の平井 薫氏、監査委員に組合議員の小走善秀氏を選任することにについて採決の結果、全員一致をもってそれぞれ原案のとおり同意して閉会いたしました。